

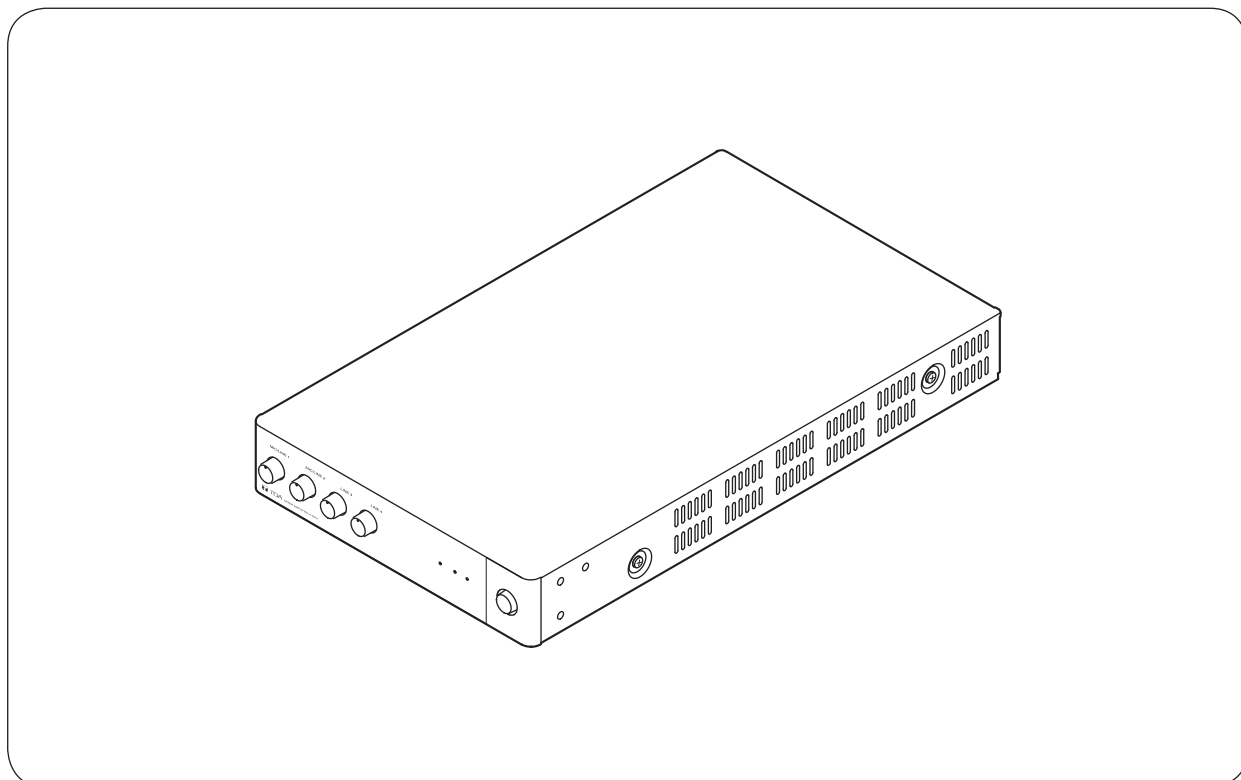


取扱説明書

ミキサーアンプ

A-5006

A-5012



このたびは、TOA ミキサーアンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

安全上のご注意	3
概 要	6
特 長	6
使用上のご注意	6
設置上のご注意	6
各部の名称とはたらき	7
前面	7
後面	8
左側面	9
接続例	10
接続のしかた	11
着脱式ターミナルプラグの接続のしかた	11
入力信号の接続のしかた	12
スピーカー出力信号の接続のしかた	13
遠隔操作用機器の接続のしかた	14
パソコンとの接続のしかた	14
ラックに取り付けるとき	15
ブロックダイヤグラム	18
外観寸法図	19
仕 様	20
付属品	20
別売品	20

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁止	接触禁止	強制	電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。
屋外に設置すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。
また、雨などがかかると、感電の原因となります。



禁止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

配線はアンプの電源を切ってから行う

電源を入れたまま配線すると、感電の原因となることがあります。



強制

ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、火災・けがの原因となることがあります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- 電源コードをコンセントに接続するときは、コンセントの許容電流を超えないこと。
- ラックに取り付けるねじは、付属していません。ラックに合ったねじをご使用ください。



強制

使用するとき

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



強制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。



強制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。

また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

概要

本機は、4入力・1出力のコンパクトな卓上型ミキサーパワーアンプです。

入力は、ライン入力、マイク入力を合わせて4入力です。

全体の音量を遠隔操作する端子を備えています。

付属のA-5000 PCソフトウェア*を用いて、イコライザーやコンプレッサーなどの信号処理を行うことができます。別売のラック取付金具を使うとEIA規格に適合するラックに取り付けることができます。2台の場合は横に連結してラック1サイズに取り付けることができます。

* 付属のCDに収録。

特長

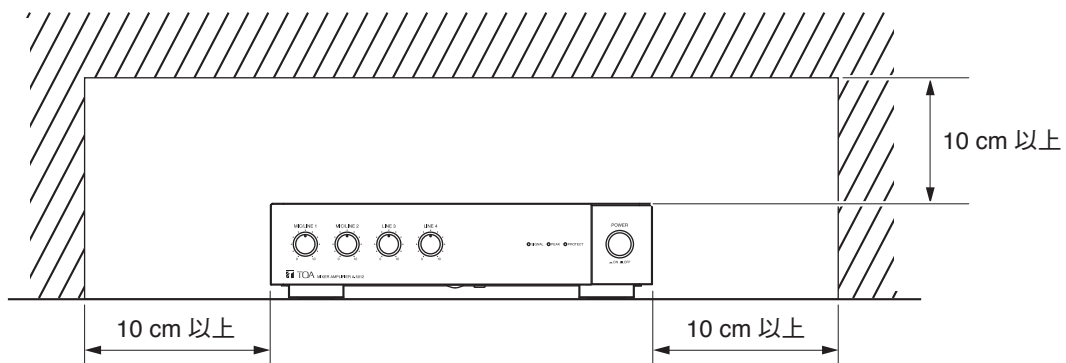
- 入力1、2は入力感度をマイクまたはラインに切り換えられます。入力3、4はライン入力固定です。
- スピーカー出力はローインピーダンスかハイインピーダンスが選択できます。
- 入力1、2の入力感度切り換え、スピーカー出力切り換えは、後面のDIPスイッチで行います。
- マニュアルミュート機能、リモートマスターボリューム機能を備えており、音量を遠隔操作できます。
- LAN端子を備えており、A-5000 PCソフトウェアを使用して本機の設定ができます。設定できるのは、入力イコライザー、出力イコライザー、コンプレッサー、マスターボリュームなどです。

使用上のご注意

- 付属の電源コードは本機専用です。本機以外の機器に使用しないでください。
- 周囲温度が0～40℃、湿度が35～80%（ただし結露しないこと）の場所で使用してください。
- 本機は精密機械ですので、強い衝撃や振動は避けてください。故障の原因となります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布を使用してください。ベンジン、シンナー、アルコール類、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

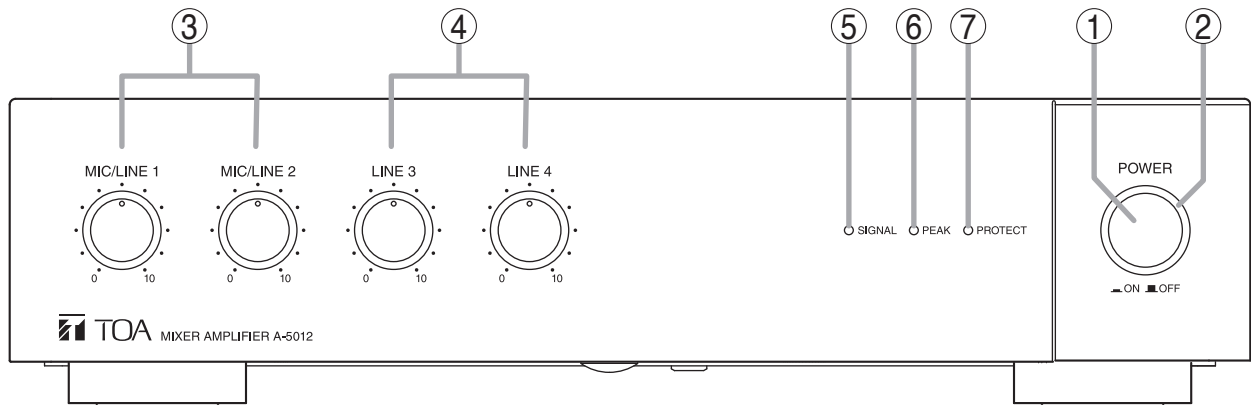
設置上のご注意

- 接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 設置・接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、設置・接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 機器は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。
- 機器内部の温度が極端に高くなるようにするために、下図のように、本機を壁・天井などから少なくとも10 cm以上離してください。また、その範囲には何も置かないでください。



各部の名称とはたらき

[前面]



※ 図は A-5012 です。

1. 電源スイッチ [POWER]

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

【ご注意】

A-5000 PC 設定ソフトウェアで設定した内容を再度お使いになる場合は、電源スイッチを切る前にプリセットメモリーに保存してください。保存する前に電源スイッチを切ると、設定内容が失われます。詳しくは付属 CD 内のソフトウェア取扱説明書をお読みください。

2. 電源表示灯 (緑)

電源を入れると緑色に点灯し、電源を切ると消灯します。

3. マイク／ライン入力音量調節つまみ [MIC/LINE 1/2]

マイク／ライン 1 または 2 の音量を調節します。

4. ライン入力音量調節つまみ [LINE 3/4]

ライン入力 3 または 4 の音量を調節します。

5. 信号表示灯 [SIGNAL] (緑)

いずれかの信号の音量が一定のレベル以上で入力された場合 (定格出力レベルから -20 dB のレベルに達したとき) に点灯します。

6. ピーク表示灯 [PEAK] (赤)

いずれかの入力信号の音量が高いレベル (定格出力レベルから -3 dB のレベル) に達した場合に点灯します。

【ご注意】

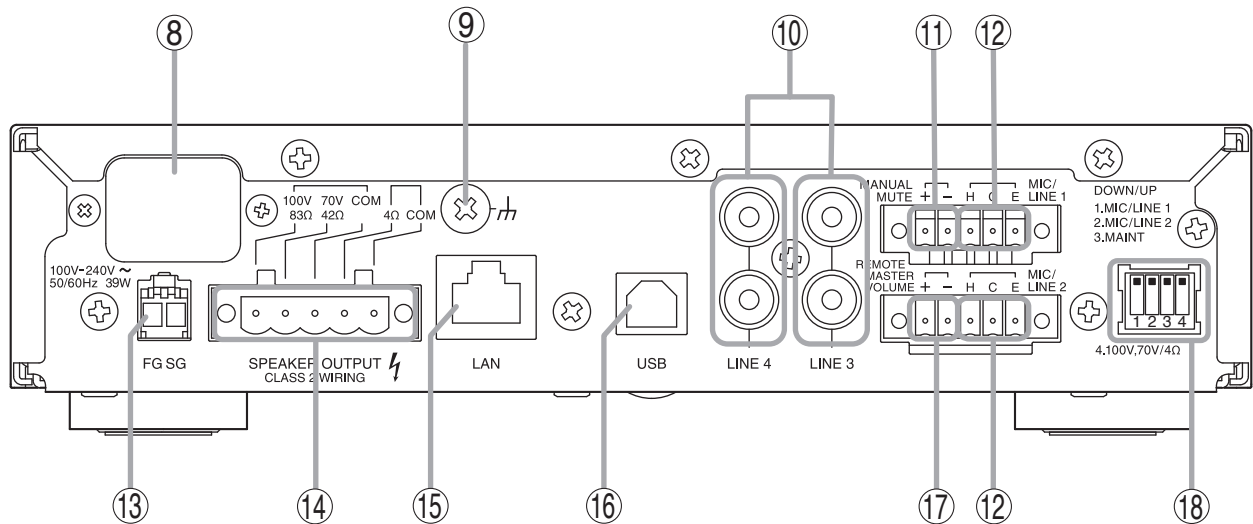
この表示灯が常時点灯しないように音量を調節してください。常時点灯している状態の場合、音が歪むことがあります。

7. プロテクト表示灯 [PROTECT] (赤)

本機の保護回路作動時 (異常検出時)、またはファン異常時に点灯します。

【メモ】

この表示灯が点灯したとき、信号表示灯 (5) およびピーク表示灯 (6) は消灯します。



※ 図は A-5012 です。

8. AC 電源入力端子

付属の電源コードで AC 電源に接続します。

9. 機能アース端子

本機に外部機器を接続してノイズが多いときは、この端子と外部機器の機能アース端子を接続してください。ノイズが少なくなることがあります。

※ 安全アースではありません。

10. ライン入力端子 (3、4)

RCA ジャック×2

-20 dB、10 kΩ、不平衡

(参照 P. 12 「入力 3、4 の接続のしかた」)

11. マニュアルミュート端子

着脱式ターミナルブロック (5P)、

短絡電流：3 mA 以下、開放電圧：DC 24 V 以下
無電圧メイク接点 (スイッチなど) を接続することでミュート機能が使用できます。

(参照 P. 14 「マニュアルミュート端子への接続」)

メ モ

事前に A-5000 PC 設定ソフトウェアで設定を行い、押しボタンスイッチなどを本機に接続しておく必要があります。

12. マイク／ライン入力端子 (1、2)

着脱式ターミナルブロック (5P)

入力感度をライン入力レベルかマイク入力レベルに切り換えることができます。

ライン入力の場合：-20 dB

マイク入力の場合：-60 dB

2.2 kΩ、電子バランス入力

(参照 P. 12 「入力 1、2 の接続のしかた」)

メ モ

入力感度の切り換えは、DIP スイッチ (18) で行います。

13. グラウンドリフト端子

本機を他の機器と接続した場合にアースのループが原因で雑音 (ハム) が発生したとき、この端子に接続されているプラグを抜くと雑音が軽減できます。

14. スピーカー出力端子

着脱式ターミナルブロック (5P)

(参照 P. 13 「スピーカー出力信号の接続のしかた」)

各出力の仕様は次のとおりです。

		A-5006	A-5012
定格出力		60 W	120 W
ローインピーダンス		4 Ω	4 Ω
ハイインピーダンス	100 系	170 Ω	83 Ω
	70 系	83 Ω	42 Ω

ご注意

ローインピーダンスとハイインピーダンスの端子を同時に使用しないでください。また、ハイインピーダンス 100 系と 70 系の端子を同時に使用しないでください。本機の故障の原因となります。

メ モ

ハイインピーダンスとローインピーダンスの出力切り換えは、DIP スイッチ (18) で行います。

15. LAN 端子

イーサネット RJ-45 ジャック

STP カテゴリー 5 規格以上のストレートケーブルを使って 100BASE-TX に対応したネットワークに接続します。

(参照 P. 14 「パソコンとの接続のしかた」)

16. USB 端子


使用しません。

17. リモートマスターボリューム端子

着脱式ターミナルブロック (5P)

開放電圧：DC 24 V 以下

外部のボリュームを接続して、本機のマスターボリュームを操作することができます。

( P. 14 「リモートマスターボリューム端子への接続」)

メモ

ボリュームには 10 kΩ の可変抵抗 (B カーブ) を使用してください。

ボリュームの抵抗値が小さいと本機の音量が小さくなり、抵抗値が大きいと音量が大きくなります。

18. DIP スイッチ

入力 1、2 の入力感度切り換えとスピーカー端子の出力切り換えを行うスイッチです。

・スイッチ 1

入力 1 の入力感度を切り換えます。

UP : ライン

DOWN : マイク

・スイッチ 2

入力 2 の入力感度を切り換えます。

UP : ライン

DOWN : マイク

・スイッチ 3

使用しません。工場出荷時 (UP) のままにしてください。

・スイッチ 4

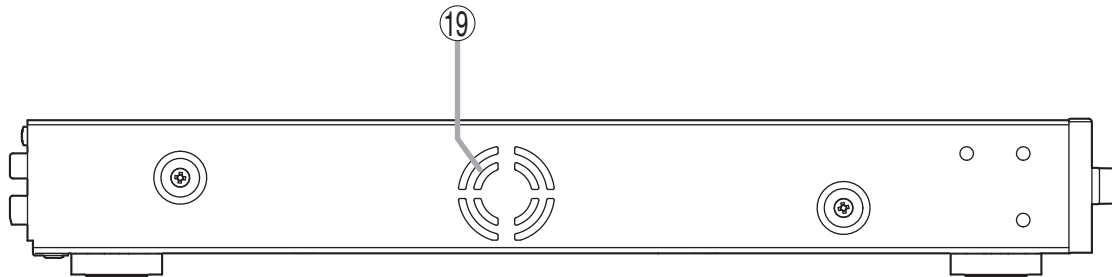
スピーカー出力を、ローインピーダンスかハイインピーダンスに切り換えます。

UP : ローインピーダンス

DOWN : ハイインピーダンス

※ 工場出荷時はすべて UP に設定されています。

[左側面]



19. ファン

排気用のファンです。

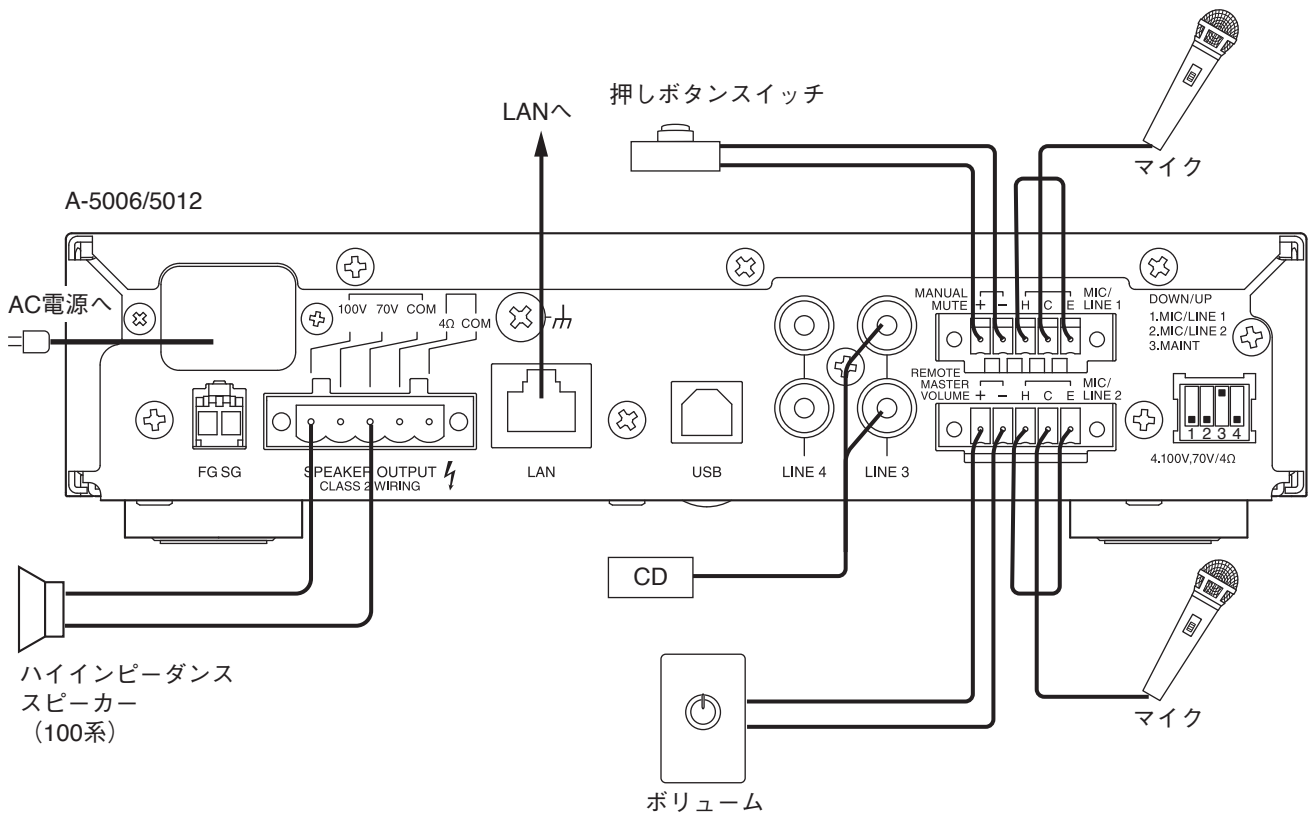
ご注意

ファンをふさがないでください。

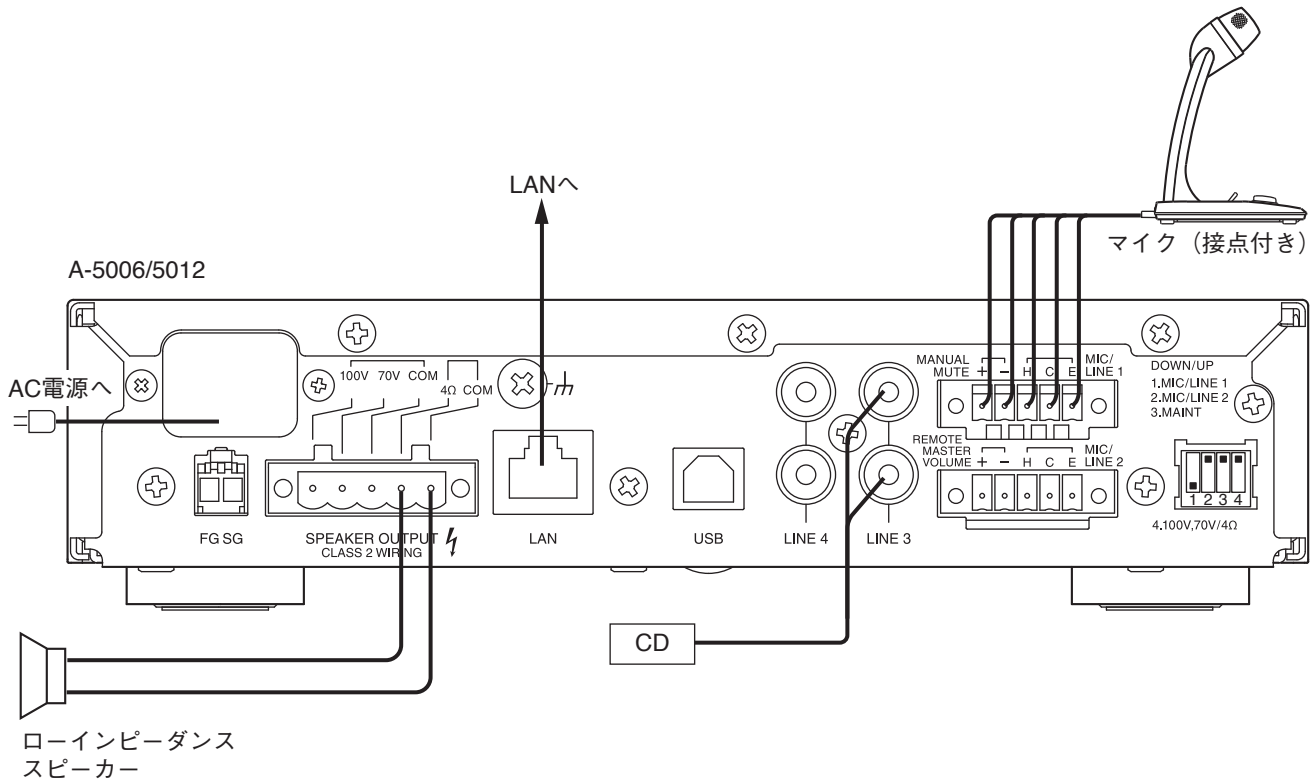
本機の故障の原因となります。

接続例

[例 1]



[例 2]



接続のしかた

■ 着脱式ターミナルプラグの接続のしかた

1 着脱式ターミナルプラグに線材を接続する。

1-1 端子ねじをゆるめて、線材を差し込む。

1-2 端子ねじをしっかりと締め付ける。

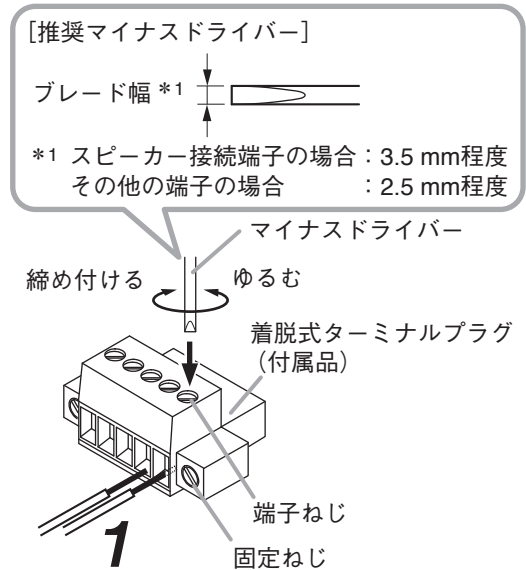
線材を引っ張って抜けないことを確認してください。
抜けたら、端子ねじをゆるめてやり直してください。

2 ターミナルプラグを機器側のターミナルブロックに差し込む。

3 固定ねじを締め付ける。

ご注意

- 手順の1と2を逆にしないでください。端子ねじを締め付けるときに、内部基板のコネクターピンに力が加わり、接触不良になる恐れがあります。
- ターミナルプラグを抜くときは、まっすぐ引き抜いてください。斜め方向に無理に引き抜くと、ターミナルプラグまたはターミナルブロックの破損の原因となります。

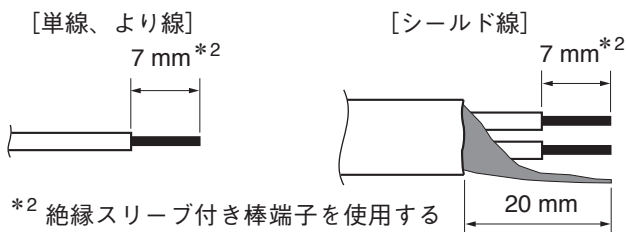


メモ

● 接続電線サイズ

	スピーカー接続端子	その他の端子
導体断面積	0.2~2.5 mm ²	0.14~1.5 mm ²
AWG	AWG24~12 相当	AWG28~16 相当

● 線材のむきしろ



ご注意

より線、シールド線を使用するときは、むきしろ部分にはんだめっきをしないでください。
線材を締め付けたときに、はんだスズが破碎し接触抵抗が高くなるため、接続部の温度が異常に上昇することがあります。

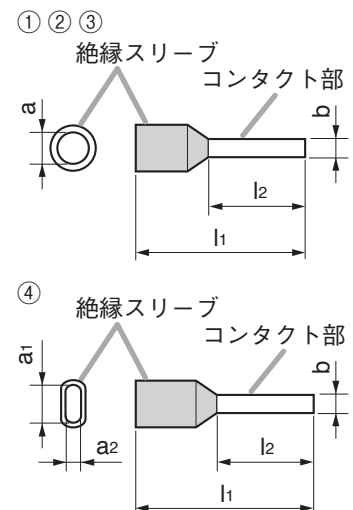
- 1つの端子に2本の線材を接続する場合や信号線を接続する場合などに、心線がばらけるのを防ぐためには、絶縁スリーブ付き棒端子で圧着してください。
推奨棒端子：信号線用（フェニックス・コンタクト製）

	品番	a	b	l ₁	l ₂
①	AI 0,34-8 TQ	2 mm	0.8 mm	12.5 mm	8 mm
②	AI 0,5-8 WH	2.5 mm	1.1 mm	14 mm	8 mm

推奨棒端子：スピーカー接続線用（フェニックス・コンタクト製）

	品番	a	a ₁	a ₂	b	l ₁	l ₂
③	AI 1,5-8 BK	3.4 mm	—	—	1.8 mm	14 mm	8 mm
④	AI-TWIN 2x1,5-8 BK	—	6.6 mm	3.6 mm	2.3 mm	16 mm	8 mm

かしめ工具：CRIMPFOX 10S（フェニックス・コンタクト製）



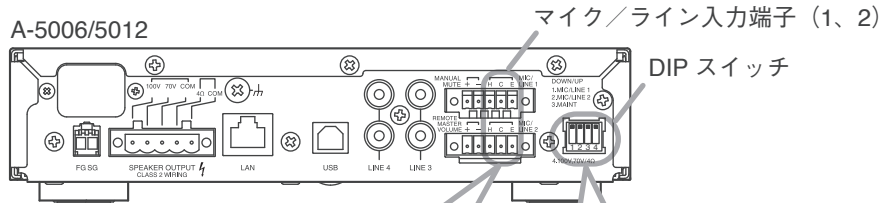
■ 入力信号の接続のしかた

● 入力 1、2 の接続のしかた

付属の着脱式ターミナルプラグ小（5P）を使用して接続します。

入力 1、2 は、マイク入力またはライン入力に切り換えて使用できます。

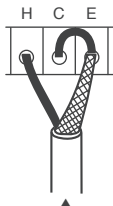
入力 1 に接続するときは DIP スイッチ 1、入力 2 に接続するときは DIP スイッチ 2 で設定してください。



[2 心シールド線の場合] [1 心シールド線の場合]



↑
マイクまたは
外部演奏機器から



↑
マイクまたは
外部演奏機器から

「C」と「E」の端子間
をショートさせる。

[DIP スイッチの設定]

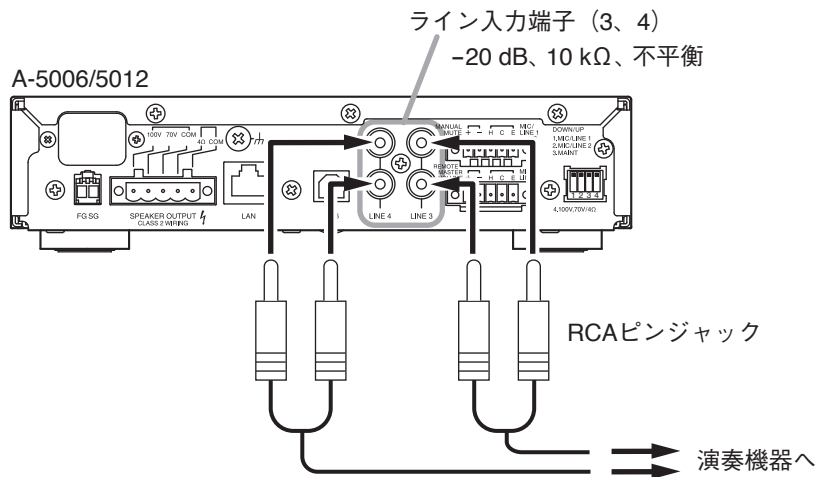
	マイク入力するとき	ライン入力するとき
入力 1	 1 : DOWN	 1 : UP
入力 2	 2 : DOWN	 2 : UP

※ 工場出荷時はスイッチ 1、2 ともに UP

● 入力 3、4 の接続のしかた

ライン入力専用です。

モノラル音源を接続するときは、L 線を接続してください。

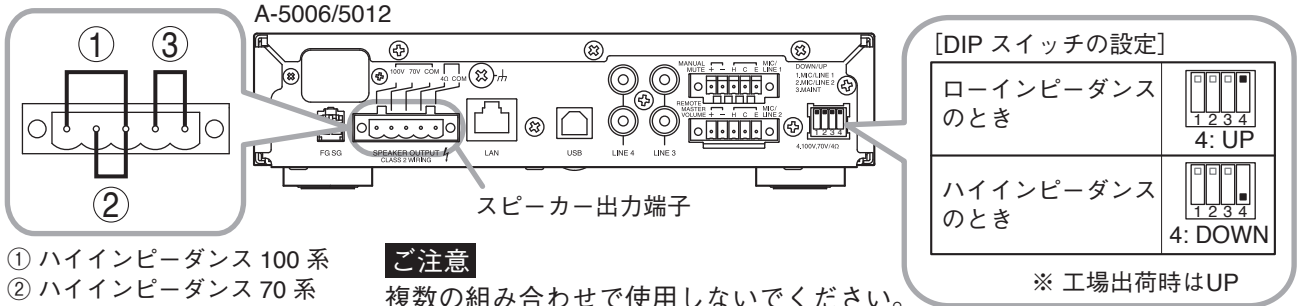


メ モ

L 線と R 線の信号は、内部でミキシングされます。

■ スピーカー出力信号の接続のしかた

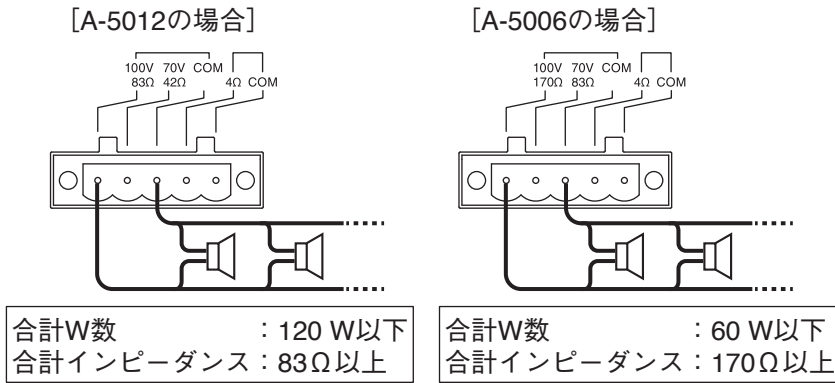
本機は、ハイインピーダンスまたはローインピーダンスのスピーカーを接続することができます。付属の着脱式ターミナルプラグ大 (5P) を使用して、下記の3つの組み合わせのうち、どれか1組の端子のみにスピーカー線を接続してください。また、DIPスイッチ4でインピーダンスの設定をしてください。



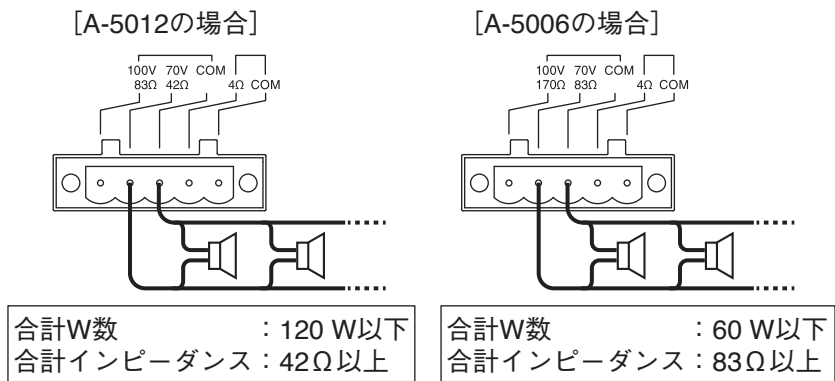
- ① ハイインピーダンス 100 系
- ② ハイインピーダンス 70 系
- ③ ローインピーダンス (4Ω)

ご注意
複数の組み合わせで使用しないでください。機器の故障の原因となります。

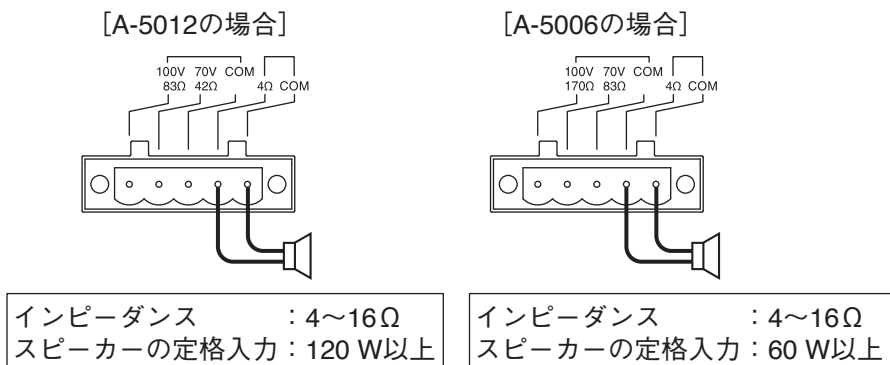
● ハイインピーダンス 100 系のスピーカーを接続する場合



● ハイインピーダンス 70 系のスピーカーを接続する場合



● ローインピーダンスのスピーカーを接続する場合



■ 遠隔操作機器の接続のしかた

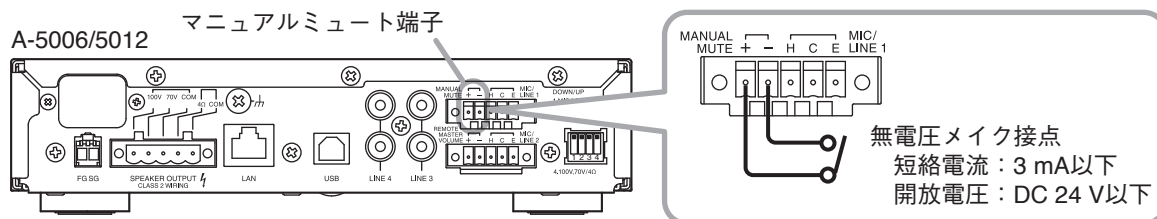
付属の着脱式ターミナルプラグ小（5P）を使用して接続します。

● マニュアルミュート端子への接続

無電圧マイク接点を接続しておくことにより、接点をメイクすることにより、あらかじめ設定された入力チャンネルの音量をあらかじめ設定された減衰量だけ下げることができます。

接続例 2（P. 10）のように接点付きのマイクを接続すると、マイクのトークスイッチを押している間、他のチャンネルの音声をミュートさせることができます。

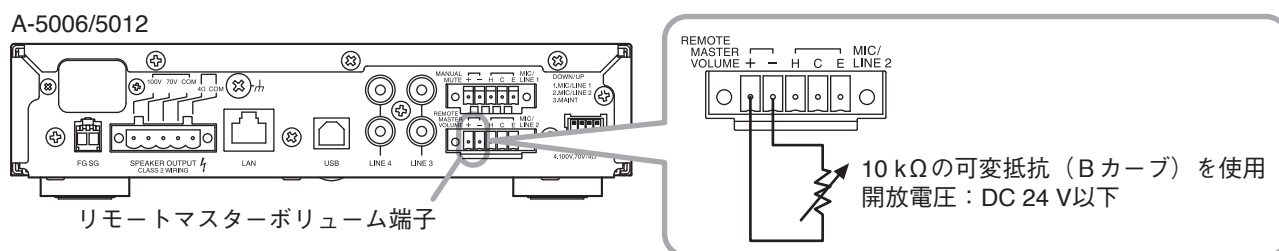
この機能の有効／無効、対象とする入力チャンネル、減衰量の設定などは、A-5000 PC ソフトウェアで行います。詳細は付属 CD 内のソフトウェア取扱説明書をお読みください。



● リモートマスターボリューム端子への接続

ボリュームを接続して、外部から本体のマスターボリュームを調節することができます。

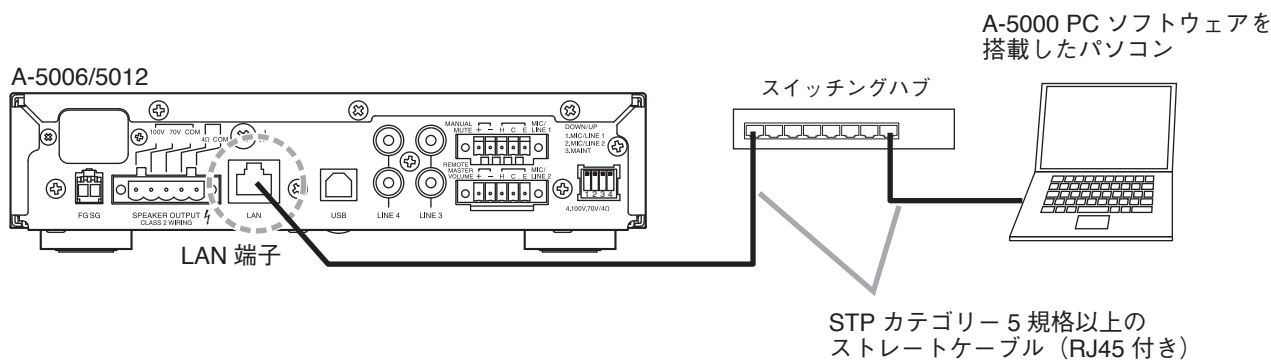
ボリュームの抵抗値が小さいと本機の音量が小さくなり、抵抗値が大きいと音量が大きくなります。



■ パソコンとの接続のしかた

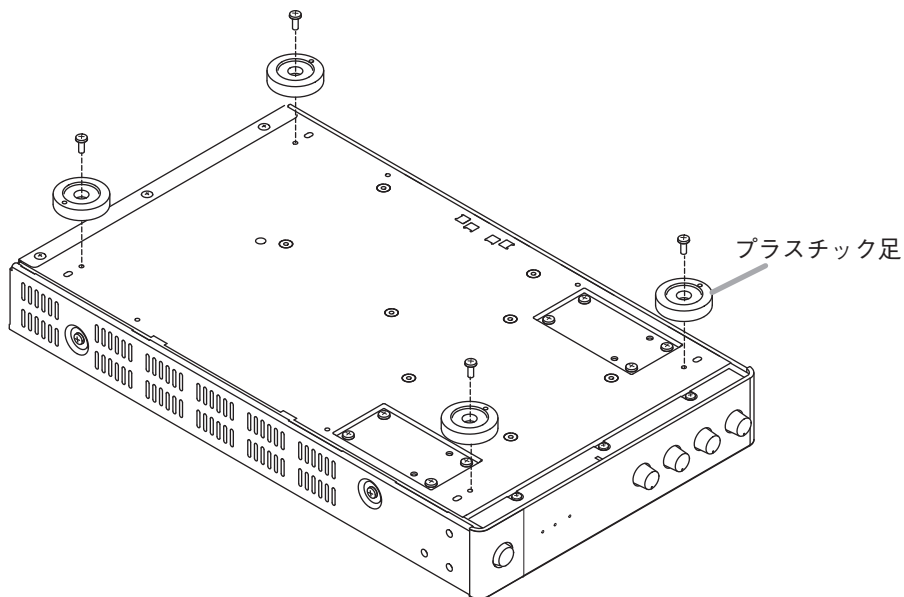
スイッチングハブを介して接続します。

詳細は付属 CD 内のソフトウェア取扱説明書をお読みください。



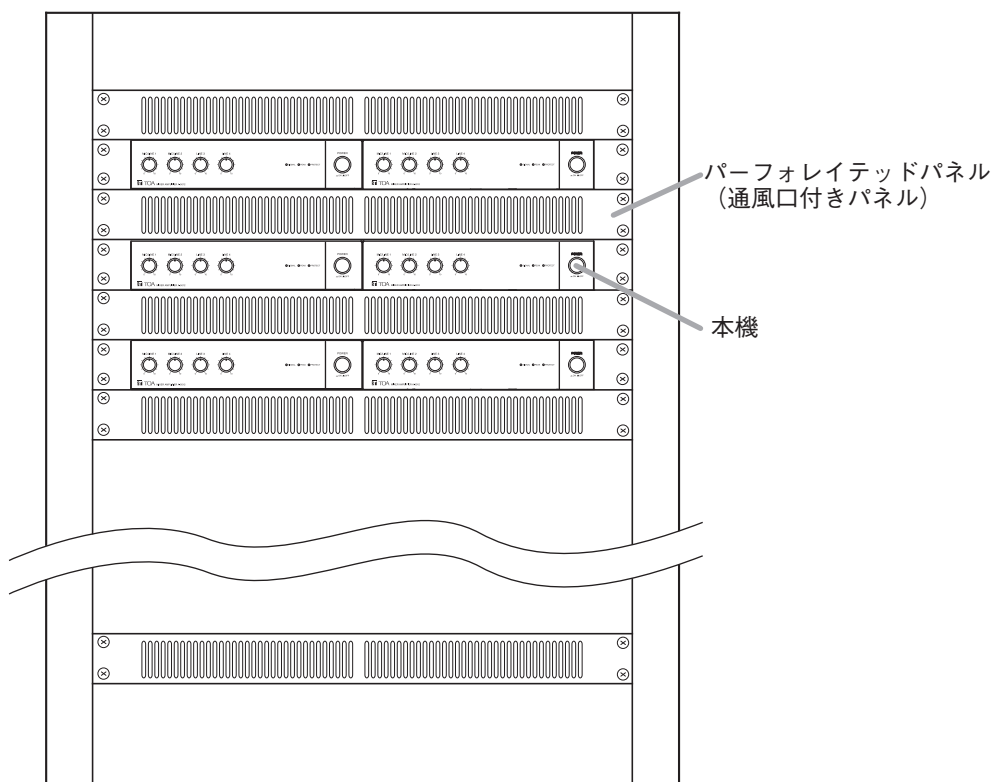
ラックに取り付けるとき

本機をラックに取り付けるときは、別売のガイドレール YA-706 と、金具セット MB-15B-BK（本機 1 台用）または MB-15B-J（本機 2 台用）を使用してください。
取り付けるときは、底面にねじ止めされているプラスチック足を取り外してください。



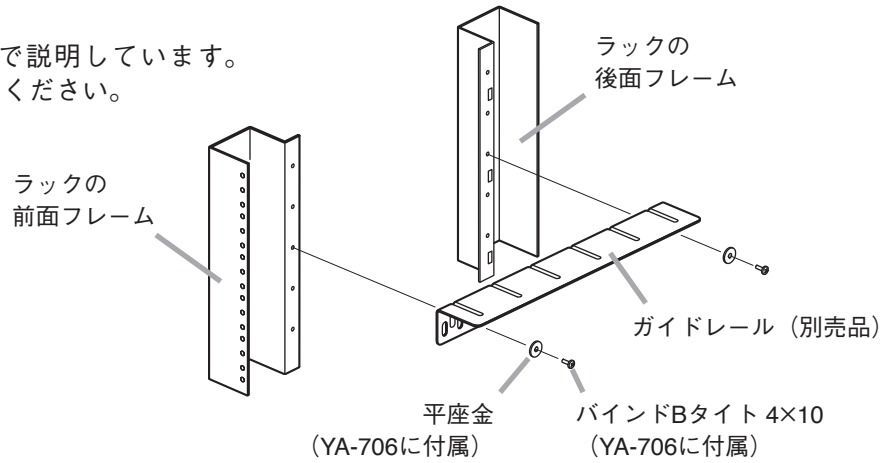
ご注意

通風を良くするため、本機の上とラックの最上段と最下段に 1 サイズ以上のパーフォレイテッドパネル（通風口付きパネル）を取り付けてください。



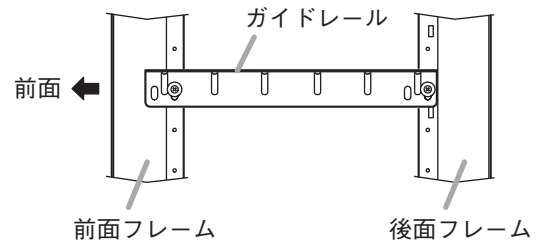
1 ガイドレール YA-706 をラックのフレームに仮止めする。

※この図は、ラック左側面で説明しています。
右側面も同様に取り付けてください。

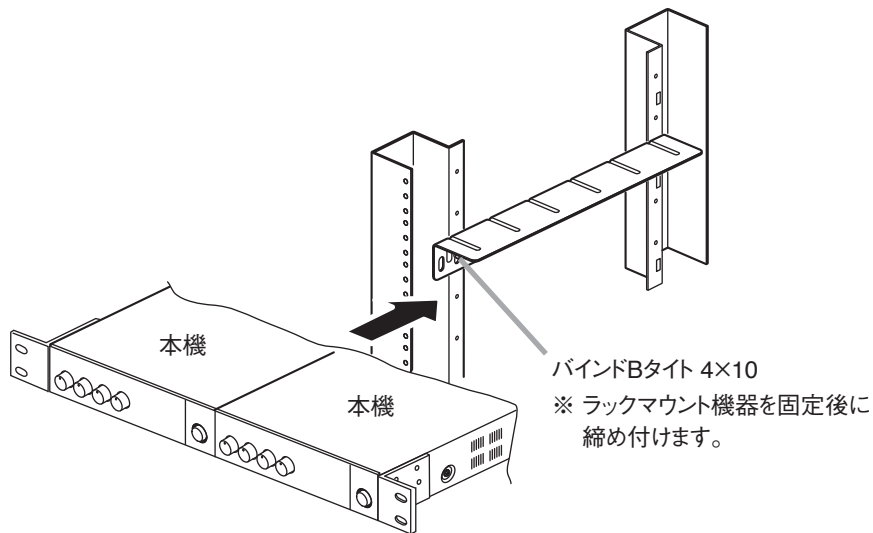


ご注意

ガイドレールは使用するねじ穴の位置に注意し、
取り付けたときにラックの前面寄りになるように
してください。

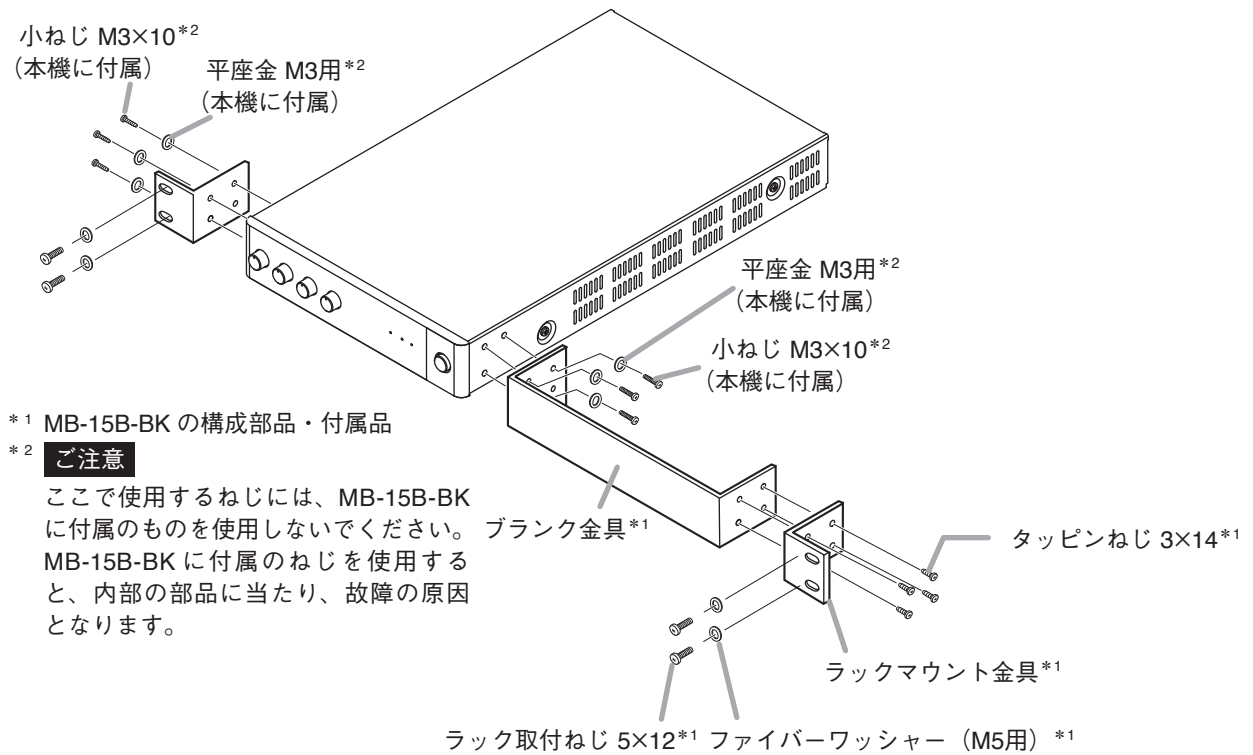


2 仮止めした YA-706 の上に金具セットを取付けた本機を乗せて、ラック取付ねじで取り付ける。



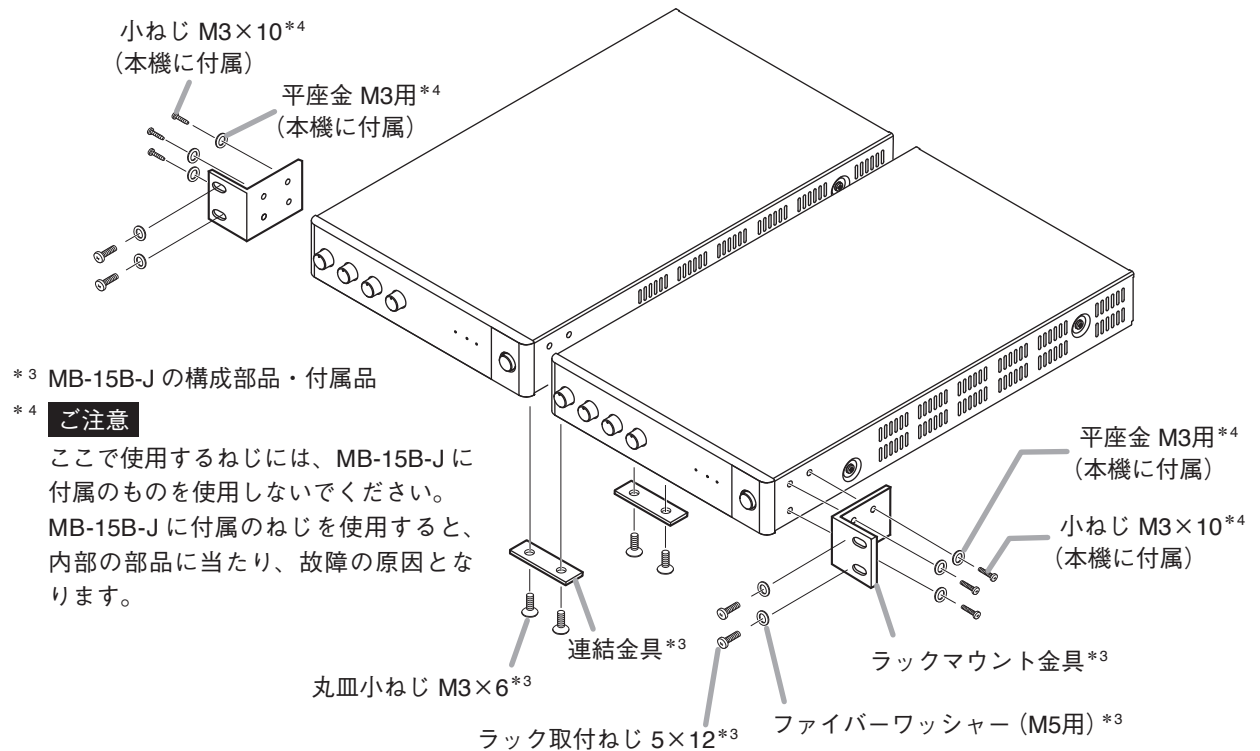
2-1 本機を1台取り付けるとき

別売の金具セット MB-15B-BK を使用してください。



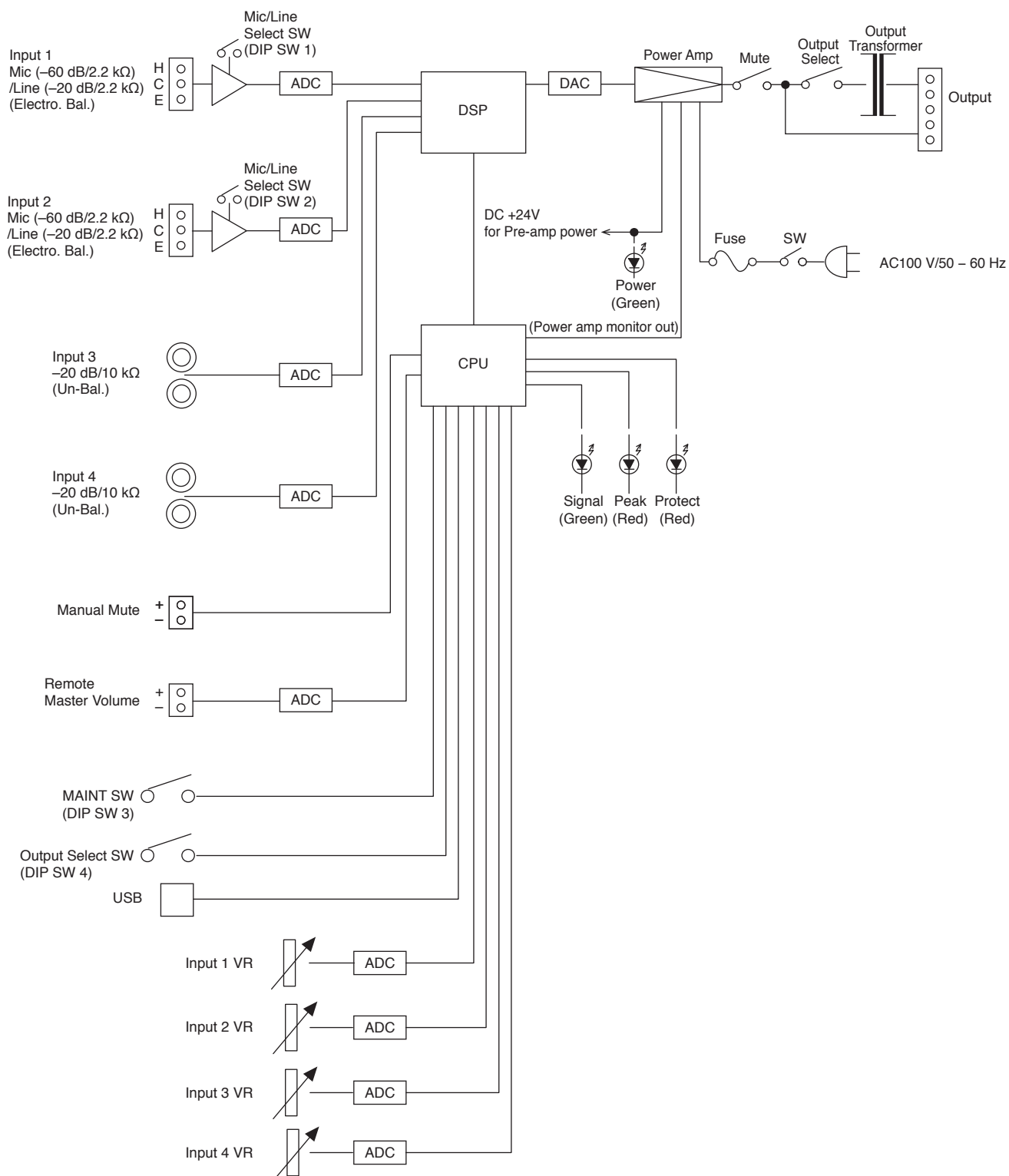
2-2 本機を2台取り付けるとき

別売の金具セット MB-15B-J を使用してください。



3 仮止めした YA-706 を本機に合わせて固定する。

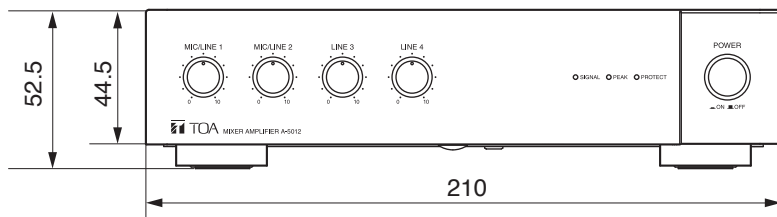
ブロックダイアグラム



外觀寸法図

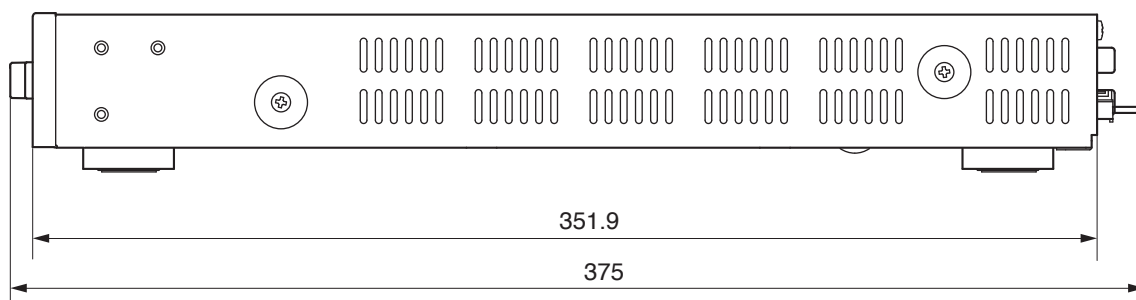
[前面]

単位：mm



※ 図は A-5012 です。
A-5006 の外觀寸法は A-5012
と同じです。

[側面]



仕 様

品 番	A-5006	A-5012
電 源	AC100 V、50/60 Hz	
定 格 出 力	60 W	120 W
消 費 電 力	107 W (定格出力時) 20 W (電気用品安全法による)	208 W (定格出力時) 39 W (電気用品安全法による)
消 費 電 流	最大 2 A	最大 3 A
周 波 数 特 性	50 Hz ~ 20 kHz (1/8 定格出力時)	
歪 率	1 % 以下 (1 kHz、定格出力)	
入 力	入 力 1、2	MIC : -60 dB * / LINE : -20 dB * (MIC/LINE 切り換え式) 2.2 k Ω 、電子バランス、着脱式ターミナルブロック (5P)
	入 力 3、4	LINE : -20 dB * 10 k Ω 、不平衡、RCA ピンジャック
出 力	ス ピ ー カ ー	4 Ω 、70 系 (83 Ω)、100 系 (170 Ω) 着脱式ターミナルブロック (5P)
S N 比	MIC1、2 : 50 dB 以上、LINE1 ~ 4 : 70 dB 以上 (JIS-A)	
機 能	パラメトリックイコライザー : 各入力に 5 ポイント設定可能 (ハイパスフィルター×1、パラメトリックイコライザー×4) ハイパスフィルター : 20 Hz ~ 20 kHz (6dB/oct) パラメトリックイコライザー : 20 Hz ~ 20 kHz \pm 15 dB (6dB/oct)、 Q : 0.267 ~ 69.249 FBS : 入力 1、2 に ON/OFF の設定が可能 (デフォルト : OFF) コンプレッサー : 入力 1、2 に ON/OFF の設定が可能 (デフォルト : OFF) スレッシュホールド、レシオ、アタックタイム、リリースタイム、ゲインは個々に独立して調整可能 ミュート : 各入力にマニュアルモード / オートモード / OFF の設定が可能 (デフォルト : マニュアルモード) 減衰レベル、ホールドタイム、フェードインタイムは個々に独立して調整可能 オートモード時は、トリガースレッシュホールド (入力 1) が調整可能 イコライザー : 出力に 10 ポイント設定可能 (スルー、ローパスフィルター、パラメトリックイコライザー、ハイパスフィルター) ローパスフィルター : 20 Hz ~ 20 kHz (6 dB/oct) ローパスフィルター : 20 Hz ~ 20 kHz (12 dB/oct) パラメトリックイコライザー : 20 Hz ~ 20 kHz \pm 15dB、Q : 0.267 ~ 69.249 ハイパスフィルター : 20 Hz ~ 20 kHz (6 dB/oct) ハイパスフィルター : 20 Hz ~ 20 kHz (12 dB/oct) スピーカー用パラメトリックイコライザー : 出力に 5 ポイント設定可能 20 Hz ~ 20 kHz \pm 15 dB Q : 0.267 ~ 69.249	
制 御	ミュート制御、リモートマスターボリューム制御、電源 ON/OFF スイッチ、グラウンドリフト	
表 示 灯	電源表示灯、信号表示灯、ピーク表示灯、プロテクト表示灯	
ネットワーク I / F	100BASE-TX	
使用温度範囲	0 ~ 40°C	
使用湿度範囲	35 ~ 80%RH (ただし結露のないこと)	
仕 上 げ	パネル : PS 樹脂、黒 ケース : 表面処理鋼板、黒、塗装	
寸 法	210 (幅) \times 52.5 (高さ) \times 375 (奥行) mm	
質 量	3.6 kg	3.9 kg

* 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

着脱式ターミナルプラグ大(5P) 1 CD (PC ソフトウェア) 1 小ねじ M3 \times 10 6
 着脱式ターミナルプラグ小(5P) 2 電源コード* (2 m) 1 平座金 M3 用 6

● 別売品

ラックマウント金具セット : MB-15B-BK (1 台ラックマウントする場合)
 ラックマウント金具連結金具セット : MB-15B-J (2 台連結してラックマウントする場合)
 ガイドレール : YA-706

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9 : 00 ~ 17 : 00 (土日、祝日除く)	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-02-00213-02